

CMI 株式会社

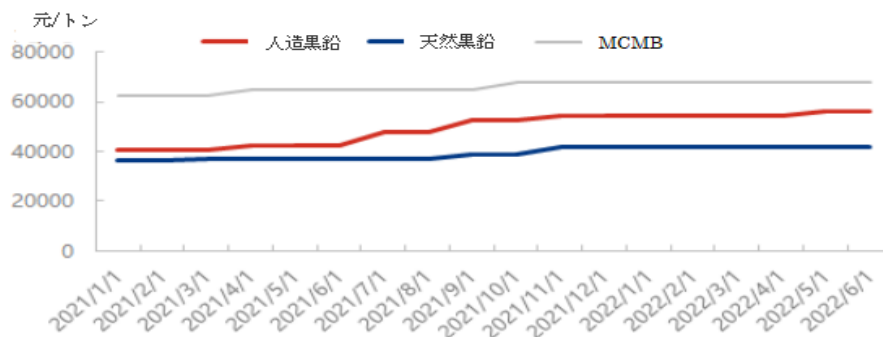
横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301
TEL: 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

中国の負極材料の市場動向

1. 価格

2022年第1四半期、中国の人造黒鉛の平均価格は黒鉛化工程の生産能力不足と石油コークス、ニードルコークスなどの原料価格の上昇によって、昨年より5%~10%値上がりした。

6月2日現在の主要負極材料の価格は、天然黒鉛は3.9~4.2万円/トン（76.6~82.5万円/トン。1元=19.64円で換算）、人工黒鉛は5.0~6.0万円/トン（98.2~117.8万円/トン）、メソカーボンマイクロビーズ(MCMB)は6.0~7.5万円/トン（117.8~147.3万円/トン）だった。



出典：石墨盟

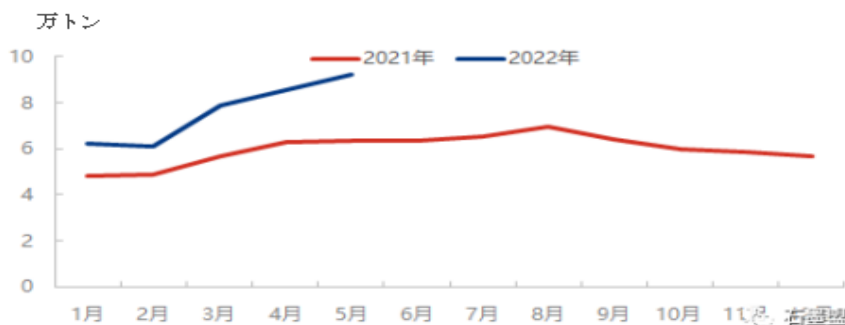
図1 中国の負極材料の価格推移（2021年1月~2022年6月）

負極材料の需給逼迫のため、第3四半期の価格は依然として高いレベルで推移すると見込まれている。図1に中国の主な負極材料の価格推移を示す。

2. 供給と需要

隆衆資訊によると、5月の負極材料生産量は9万2,400トンで、前年同期より45.74%増加した。

2021年の負極材料生産量は約72万トンで、前年度の97%増となった。2022年も大幅に増加する見通しである。図2に2021年からの負極材料月別生産量を示す。



出典：石墨盟

図2 月別負極材料生産量の推移（2021年1月~2022年5月）

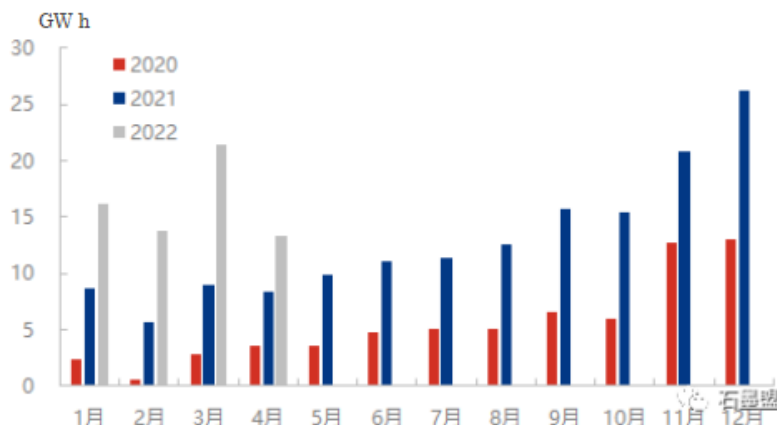
CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301

TEL: 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

下流市場では、1~4月の動力電池消費量は64.7 GWhで、前年同期より104.10%上昇した。そのうち、リン酸鉄リチウム電池消費量は38.8 GWhで、同207.94%増となった。

高工鋰電（GGII）によると、中国のリチウム電池消費量が2025年に1,456 GWhになるとしている。1 GWh当たりのリチウム電池の負極材料消費量を1,000トンで試算すると、2025年の負極材料需要量は145万6,000トンになると予測している。



出典：石墨盟

図3 中国リチウム電池消費量の推移（2020年1月～2022年4月）

注意すべきは、GGIIの概略統計では、2022年から負極材料の生産拡張や新規プロジェクト29件が稼働開始し、その生産能力は年間400万6,000トンに及ぶとしていることである。これは2025年の需要量145万6,000トンをはるかに超える。

今年下半期には負極材料の供給量が大幅に増加し、価格が低下すると見込まれている。

情報源：石墨盟より。